



# しらすぎ

目黒区立第八中学校  
学校だより NO.19  
(通巻39号)  
平成26年(2014)  
1月8日(水)

## 『やれる理由をさがす』

校長 飯野 博史

あけましておめでとうございます。今年は午年、躍動の年にしていきたいと思えます。ご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

毎年「初日の出」を見に行きます。今年も見晴らしのよい近くの土手に上がり、初日の出を待ちました。天気もよく、すでにたくさんの人が集まっていた。6時56分、まぶしい日の出に感動するとともに「今年も頑張ろう」と決意を新たにしました。その足で柴又帝釈天に初詣、八中の生徒たちの健やかな成長と八中のさらなる発展、3年生全員の進路決定を祈願しました。

帰りの道すがら、今年目標を決めました。それは「やれる理由をさがす」ということです。昨年11月、JAXA川口淳一郎さんの講演会を聴く機会がありました。演題は「やれる理由を見つけて挑戦することが独創をかなえる」というものでした。川口淳一郎さんは小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務め、プロジェクトの実現と成功の中心となった方です。

「はやぶさ」は幾多の故障、トラブルに見舞われます。「もうだめか」と思ったことが何度もありました。その度にチームのメンバーが素晴らしいアイデアを出し合い、度重なる危機を乗り越えたそうです。「できない理由」を考えるのではなく、常に「できる理由」「やれる理由」を考えていったことが、成功につながったということです。

何か新しいことに取り組もうとするとき、「時間がないから無理だよ」とか、「予算がないからできない」などと「できない理由」をあげていることがないでしょうか。「できない理由」をあげるということは「やりたくない」という姿勢を示しています。

「厳しい状況の中でも『やれる理由をさがす』、これこそが創意工夫を生み出す基本的な姿勢です。『できない理由』を探していたら、『はやぶさ』は地球への帰還どころか、イトカワに着くこともできなかったでしょう。いや、それ以前に計画自体を立ち上げることもできなかったかもしれません。日常生活でも、学校生活でも『できない理由』を探したくなることがあります。けれども、最初から無理と思って『やらずにすむ理由』を探すよりも、『やれる理由・できる理由』を考えるほうがずっといい。」と述べていました。「やれる理由をさがす」プラス思考で学校経営をしていきたいと思えます。

さて、今日から始まる後期後半は1、2年生は52日、3年生は50日という短い期間です。本当にあつという間に過ぎていきます。この短い期間は1、2年生は進級に向けて、3年生は新しい生活に向けて準備をする大切な時期です。そこで生徒たちに次の目標を伝えました。

- ① 人の話は「目」で聞く。
- ② 「朝の読書」にしっかり取り組む。
- ③ いじめやいやがらせ、暴言・暴力は許さない。
- ④ 授業に真剣に取り組む。
- ⑤ 当たり前のことを当たり前にやる。

卒業・進級までに、基本的なことをもう一度見直し、身に付けさせていきます。

■ 3年生「人権教室」感想文 11/29 「横田めぐみさんの拉致問題」について

- ・北朝鮮の拉致問題、横田めぐみさんのことも知ってはいました。でも、ビデオを見たりお話を聞いたりして改めて残酷なことだと思いました。何の罪もない、まだ子どもだっためぐみさんが拉致された。どんなに辛かったか想像するだけで悲しくなります。家族も36年間、苦しんだことと思います。「生きているかも分からない、北朝鮮にいと知った、結婚して子どもがいると聞いた、死んだと言われた。」ご両親の気持ちは私たちの想像を絶するものでしょう。生きていると信じ続け、講演会などを通してたくさんの人に拉致を知ってもらい、少しでも前進することを願って活動する姿勢には感動しました。私に何ができるか分かりません。でも、このことをたくさんの人に伝えていきたいです。今幸せに生きられることに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきます。横田めぐみさんをはじめ、北朝鮮に拉致されている方々が一刻も早く日本に帰国できることを心より祈っています。
- ・拉致について何も考えていなかったのが、今回の話を聞いて衝撃を受けました。今、自分が普段と同じ何気ない生活が当たり前のようでそうではない。いきなりいつもの生活がなくなってしまったら…と考えると、めぐみさんの両親も、めぐみさんもとて辛かったと思うし、その悲しみは私たちには絶対に分からないと思います。他にもたくさん拉致された人たちがいると知って、こんなにも大勢の人が何も罪もないのに悲しまなくてはならない理由が分かりません。今回、拉致について学んだことは大きなことだと思います。

■ 1年生「人権教室」感想文 11/27 松村由紀子人権擁護委員のお話を聞いて

- ・私は今回「人権」について考えることができました。松村先生のお話や資料を読んで、だんだんと「人権」が分かってきました。「人権」は世界中の誰もがもっていて、その人がその人らしく生きていける権利だと思いました。そして、それを他の人がこわしてはいけない、逆に守らなければいけないのだと思いました。私はその「人権」を守っていこうと思いました。
- 私は松村先生に「自分たちがもっている手、足などをいいことに使っていますか」と聞かれて、正直自信をもって答えることができませんでした。「口」は友達を「励ます」ために、「手」は「支える」ために、「足」は「歩く」ために、「目」は友達困っていないか「見る」ために、「耳」は友達の心の声を「聴く」ために、良い方に使っていきたいと思いました。そして、困っている友達に手をさしのべたいと思いました。
- ・私にもいじめとまではいきませんが、嫌な気持ちになることは何度かありました。言われたくないことを言われたり、名前をバカにされたりと、傷つくこともありました。しかし、友達などに支えられました。
- それまでは一人で背負って、つらいことなどもたえてきましたが、ある時、おさえきれなくなって友達に相談したらスッキリしました。肩の荷がおりたような気分になりました。そして友達は私のことを支えてくれました。私はこれこそ人間なのだと思いました。人と人が支え合って生きるからこそ幸せなんだなと思いました。

◎ 1月の主な行事

7日(火) 冬休み終	14日(火) 専門委員会
8日(水) 全校朝礼	18日(土) 区連合展覧会始
9日(木) 校内書き初め展始	20日(月) 学年朝礼、中央委員会
2年A・B組臨時保護者会	21日(月) 生徒会朝礼
17日(金) 校外学習(1, 2年)	22日(水) E組区連合展覧会見学
職場体験(E組)	27日(月) 生徒会朝礼
	28日(火) 学校公開日